

531

31

6 7 8 9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 7

始



15.210

13
M

訂校

おもろさうし

大正十四年校訂刊行

第十四—第二十二



伊波普猷校訂

訂校

おもろさうし

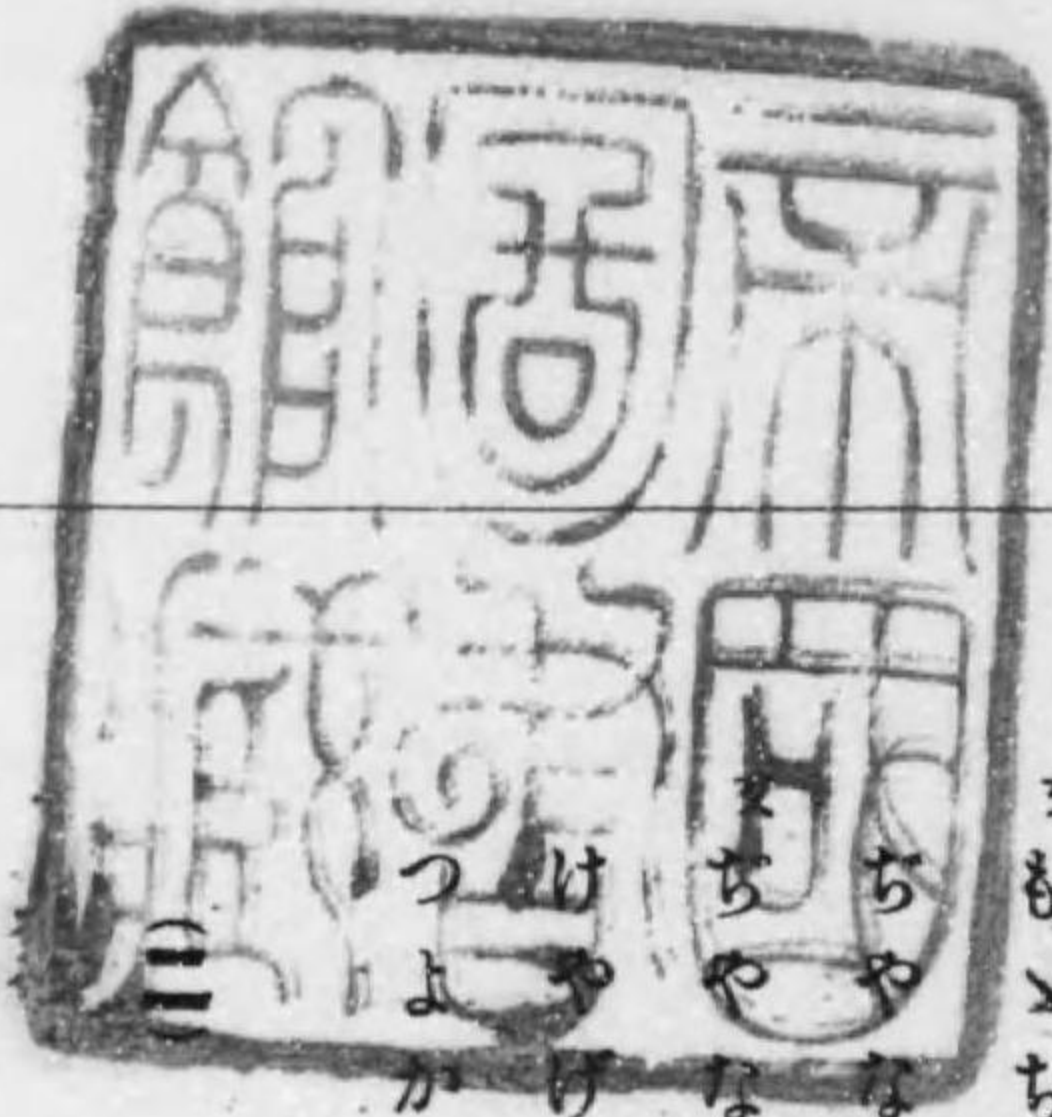
南島談話會刊行

大正
14. 10. 2
内交

531-31

いろく此意とおもろ御さうし

第十四



(一)

一 おちやなもひや、たが、なちやる、くまか、

こが、きよらさ、こが、みほしや、あよるな

又も、ちやらの、あらて、おちやる、こちやくち、

おちやなもいまゆ、あけたれ

おちやなもいが、おちやな、うへをる、のぼて、

つよけたる、つよい、

つよからど、かむまや、ある

一となくまくあんじつきの、大や

又花城ちやらつきの、大や

又ひとりがまの、やぐさぐまと、なちへ、おちる

校訂おもしろさうじ

又ほか、あたりよ、うち、あたりよ、あへる
又とつかりやが、またまたらびよと、あらで
又たぢあらびよ、まぢあらびよ、あらで
又た、よみやと、みまよ、よみやと、まぢへ、おぢへ
又さなぐまぐ、いちやかぢよ、おれて
又かせはあぢへ、ぬのとあぢへ、おれて
又おもひかけと、まより、あくかべ、いきやて
又ま人も、こが、みぼしや、ありよれ
又おきてたも、こが、きよらさ、あ(り)よれ

(三)

一かなぐまぐ、大ちきよ、
おもひ、ませがなし
又かなぐまぐ、まらへきよ
又大ちきよが、ま(り)くさ

又まらへきよがま(り)くさ
又くねぶ、とて、とき、よぢちへ
又かなし、とて、とき、よぢちへ

(四)

一かつれんよ、おぢる、
きみしまたたりやよ、
よへの、またたりや、よせれ
又きむたかよ、おぢる

(五) おごまりがふじ

一ちをな、おぢる、めまよ、きよら、あんじの
又ちをな、おぢる、とくき、きよらあんじの
又みとち、まき、てちよく、まき、まよぢちへ
又まらかけ、みまよ、かさべ、みまよ、まよぢちへ

校訂おもしろさうし

又どいき、おび、まゆし、ひきまめて
又大かたなよ、かけさし、まよむちへ
又こしかたなよ、いかさ、さし、まよむちへ
又ひぎや、かむさを、うちかけ、くみ、まよむちへ
又うま、ひきの、みちや、ひきの、こたら
又ましらまよこがね、くら、かけて
又まへくらよ、てだの、かた、あかちへ
又あるいくらよ、月の、かた、あかちへ

(六)

一 おんな、やちき、きよ、
あふそ、やちき、きよ、
おもひこの、きも、ちやさ
又あむの、おやの、もまめ、
きもちや、おやの、もまめ

又やまこ、まて、みつぎ、
たけこ、まて、みつぎ
又かちやも、せゝられて、
ぬかこ、せゝられて

(七) うおさけがふし

一 あさて、やたいらの、まつり、
まふどり、かま、せらと、
みちへ、おむれ
又みかいの、さよきやの、おむめ
やまどの、こらよ、みせたな、やたる

(八) 同ふし

一 よしたけの、さくらが、さくやに、
きみし、まなて、なよら

又ひかたけよ、むらさきかり、さくやに、
きみまなて、なよら
又たけなかし、あやへかさ、さしよちへ
又もりかなし、くるまかさ、さしよちへ

(九)

一うけのどりの、うたい
又となれどりの、うたい

(一〇)

一あがるいの、まゑたよ
くまげもど、ふくどり、
あが、おもひが、
こゑなり、いちゑて、
又きけく、きも人、

きも人、きよこれ

又てだがあなの、まゑたよ

(一一)

一おとたるい、きもからど、
まひつく、あんどおそいぎや、
おみまゑの、きこやよ
又きまゝ、おてや、ちよも、
どうさおてや、ちよも

(一二) うさけがふじ

一いけなの、よきよら、ゑけり、
かなしやの、ゑけり
又いけなの、たけきよら、ゑけり
又ゑけ、まぎや、まよりおや國、おとさき

校訂おもしろさうし

又 忍^{ア、リ}け^{ア、リ}包^{ア、リ}ぎや、 あんじおやこよ、 お包^{ア、リ}とぎ
又 忍^{ア、リ}け^{ア、リ}包^{ア、リ}ぎや、 さけおらよ、 ならよ
又 忍^{ア、リ}け^{ア、リ}りが、 おどりよ、 ならよ

(一三)

一 志ま^{ア、リ}然^{ア、リ}り、 くねぶ、

おや國、 くねぶ、

うらこやとひ

又 おれづもが、 たてと、

包^{ア、リ}かなつが、 たてと、

うらこやとひ

(一四) かつれんのまみなこがふし

一 くれむ世の、 ぬしの、

まぶよ、 そのか、 よい、

うらきらしや、 おがて、

か、 おらよ

又 けよと、 包^{ア、リ}かどのうち、

あちやと、 こめを、 うちへ

(一五) くれむ世のぬしのふし

一 かつれん、 まみよやこと、 やておちへ

又 中^{ア、リ}ひやくな、 こみなこと、 やておちへ

又 ひるなれと、 きもか、 よいかよて

又 よるなれと、 いめか、 よいかよて

又 よしみちの、 ぢやなみちが、 いきやまゆ

又 ひがみちの、 やぎみちが、 いきやまゆ

又 ひが道と、 やぎの、 おもいぎや、 まちより

又 よし道や、 ぢやなのおもいぎや、 まちより

又 いちや、 やけな、 中^{ア、リ}みちちよ、 いきやまよ

(一六)

一あが、おもいぎや、
 あぐて、おちやる、
 なごのうら、
 たゞひとり、やたもの、
 おもいその、きもちやさ
 又あが、おもひぎや、
 屯まで、おちやる、
 きせのうら

(一七)

一おごまこい、ありこい、おりるな
 又おかやへより、おじよりな、^二忍けり、あんじ
 又どいし、いちへれ、あしやけいち^三くれ、おなりあぢ

(一)モ、女ノ
男兄弟を云

又のおたにかいきや、おじよきや、忍けり、あんじ
 又世ごと、せに、せきうせ、せよ、おなり、あんじ
 又世ごまご、世さうせまご、忍けり、あんじ
 又まゑれり、國忍れど、おなり、あんじ
 又まもまご、くよまご、忍けりあんじ
 又うみちへ、忍れ、おかちへ、忍れ、おなりあんじ
 又うみちへまご、おりちへまご、忍けりあんじ
 又たま忍れり、つゑや忍れ、おなりあんじ
 又まな目よなや、ひきやよな忍けりあんじ

(一八)

一さてまじり目、のぼりあめ、ふらん、つよの、
 忍けり、ぎや、みそで、まな、ぬらち忍
 又さてまじり目、くだりくれ、ふらんつよの

(一九)

一いときなの、のろの、
 見らべ、ちやれ、もたちへ、
 ちやらが、みね、のぼて、
 かみぎや、ふねみれと、
 ゑけり、やうらぎや、ことゝ
 あんす、いちやけ、おもい
 又うつき、よきふりよ、
 えたよみやが、そで花、
 みきやら、ひき、たてく、
 かみぎや、ふね、みれと

(二〇)

一ごゑくもりぐそく、

ごいくあやみやよ、
 なさいきよ、

世そろいむちへ

又あがるい、もりぐすく、

あかろあやみやよ、

なさいきよ

(二一)

一ごえく、世のぬしの、
 こちや、おりつちよ、
 むつまたと、げらへて、
 かみまもの、
 みもんする、御くら
 又あがる、世のぬしの

(三二) おらおそへふし

一 ござるく、もり、おやのろ、

おやのろと、もちなちへ、

いみやからど、

御さげや、まさる

又あがるもり、おやのろ

(三三)

一 ちをな、こまだけよ

あらへか、あらへ

又 けよのよかるひよ

又 けよのきやくるひよ

又 かわら、よせき、いちゑて

又 てもち、よせき、いちゑて

(三四)

一 かねぐま、大ころ、

大ころが、つかいまよ、

このだしま、おれたれ、

でせん、あすを、かみく

又 かね城、なでころ、

なでころが、つかいまよ

(三五)

一 きこゑ、中ぐま、

まへ、みれをみなど、

これど、あまみ、かねぐま

又 だよむ中ぐま、

こいし、みれを、たきやの、うみ、

けれど、きゝる中ぐせく

(二六)

一 きこゑ、おへささよ、

おれほしやの、もりよ、

げらへ、あくもい、

おぼつ、よど、まよせちへ

又 だよむおへささよ、

おれほしやのもりよ

(二七)

一 こてる世の、おやのろ、

あまみや、のろ、やれと、

世そうせち、

せちまさて、あまを

(一)モ、伊江
島の事

又 なりまのゝ、おやおきて、

まねりやのろやれと、

世そうせち、

せちまさて、あまを

(二八)

一 かいふたの、おやのろ、

あがるいよ、かよて、

いみやからだ、

いみきや、まさる

又 かなもりの、おやおきて、

てだがあなよ、かよて

(二九)

一 つけん、ゑせぐせく、

校訂おもしろさうし

つけん、せやぐをく、

あたらの、いとおうの、よるい

又となれ、^{ア、な}ゑ(ま)ぐをく、

とるれ、せやぐをく

(三〇)

一げらゑ、もつなりぎや、

やゝの、きら、まよれども、

あがなさと、

みこゑ、あじさたな

又み物まつなりぎや、

み物きよら、まよれども、

あがなさと、

ゑりちよ、あじさたな

(一)モ、賢き
器量勝たる
(二)モ、美稱之
男と云事之
(三)モ、國中

(三一)

一さしき、おやひが日、

せつみやまちへ、からと、

いみやからと、

おもい、せち、まさる

又ね國おやひが日

(三二)

一さしきいぢゑき、あぢの、

あはれ、まへゑくが、

もゝまま、うちちへ、

かけて、ふさよ目れ

又さしき、ぢやくよあぢの

(三三)

一 さしき、かなもりや、
あんじのまて、おやぐよ、
さしきよ、

又 ふみあがて、ちよとれ
又 よしのかなもりや

(三四)

一 さしき、おとる、おもひぐと、
まら、ゑらで、よせて、
かぐらの、くひよもい、えけとちへ
又 ねくよ、おとる、おもひぐと

(三五)

(一)モ、苗代
の大ひや門
之事
(二)モ、金蓋
之事

一 なとえたるの、ぢやうよ、
いきせりえよ、まちよとれ
こがね、ちやちよく、
せゑなめて、おまち
又 ねくよなとえたるよ

(三六)

一 さしき、かなもりよ、
おとるの、あまをちへ、
こがねの、もちろきよる、
きよらや
又 ねくよかなもりよ

(三七)

一 てどこんの、大やこ、

(一)モ、昔大
唐へ初而参
したる人のよ

(一)モ、もの
かじらの人
事
(二)モ清水井
の事
(三)モ、物頭
の人の事

校訂おもみさうじ
たうの、みち、あけむちへ、
てどこんを、
よほんうちに、とよめ
又てどこんの、さとぬし

(三八)

一ひらた、^(二)みちゑりきよが、
ことなおし、おれむちへ、
さやとの、^(三)まむさうず、げらへて
又ひらた、^(三)みちゑりきよが、
ことなおし、おれむちへ、
さやとの、てだなみ、げらへて

(三九)

一ちへねんもりぐすく、

あがるいの、ぐまぐ、
あんじおそいぎや、
おもひ、あけの城
又ちやくよ、もりぐまぐ、
てだが、あなのぐまぐ

(四〇)

一くでけんの、まちやりきよ、
あか、つかね、げらへて、
あんじおそいぎや、
さしなしの、みこし
又あがるまの、大やこ、
あかつかね、げらへて

(四一)

一あまみやから、ごよみよる、
 ちへねん、もり城。
 あんじおそいぎや、
 おもひあけの、ぐまぐ
 又まねりやから、ごよみよる、
 ぢやくよ、もり城。
 あんじおそいぎや、
 おもひあけの、城

(四二)

一あまみやから、まさるく、
 ちへねんもり城、
 げらへて、げらへやり、
 あんじおそい、みおやせ
 又まねりやから、まさるく、

ぢやくよ、もり、げらへて

(四三)

一やかの、大さまよ、
 やかの、なかさまよ、
 ておら、とし、ておら
 又やかの、おい人、
 やかの、もど人、
 ておら、とし、ておら

(四四)

一あかいん、おるつきや、
 ねこの、おるつきや、
 くよ、なつち、みちへ、うらやめ
 又みやきせん、のぼて、

(一)神酒
(二)行か

とよみ國、のぼて
又^(三)まげち、いちやせ、もて、いき^(三)や、
御ざけ、いちやせ、もて、いきや

(四五)

一きこゑ、かねまるが、
おもひぐせの、きみの、
あまべと、みぼしや、まよ^(三)ちへ
又とよむかねまるが、
おなりがみの、あまべと

(四六)

一せりかくの、のろの、
あけまの、のろの、
あまぐれ、おろちへ、

(一)モ、日本
國の事

よるい、ぬらちへ、
又うむてん、つけて、
こみなと、つけて
又かつおうだけ、さがる、
あまぐれ、おろちへ、
よるい、ぬらちへ
又やまどの、いくさ
やし^(三)ろの、いくさ

(四七)

一うちま、よきな^(三)、よ^(三)ちへ
かみくつかい
又なだかよきな^(三)

(四八)

一 きこゑ、大のろこ、

ごよむ、大のろこ、

あまみきよが、

えぢめど、もちよる

又 むくき、たい、ごらん、

だしま、たい、ごらん、

又 いつしこ、いちゑ、まらん、

くさら、いちゑ、まらん

又 のろやちよも、やぐめさ

又 ぬしやちよも、やぐめさ

(四九)

一 あがるいの、大ぬし、

まゑまさり、

げらへて、げらへてちへ、

ともゝまへ、ちよむれ

又 きこゑくよせりきよ、

せへまさて、げらへて

又 てだがあなの大ぬし

まゑまさり、げらへて

又 てだがあなの大ぬし

よそうせぢ

(五〇)

一 くむいよ、おてや、ちよも、

おしあけ、おてや、ちよも、

あだまやの、あやより、

くせより、みらな

又 よこたけの、けよま、

まゑたけの、けよま

校訂おもしろさうし

(五一)

一 くしかむよ、あむる、
あまごく、ちやらの、
おせや、ちやらつゝ
又 おやぐよおむる
又 月よか、たてと、
よりあそび、ならて

(五二)

一 たいら、まさりきよが、
あかえんた、おむちへ

(五三)

一 きやむもり、大ころ、

大ころが、げらへたる、
まみやよ、あすべく、やちよく
又 きやむもりの、中もり、
げらへたる、まみやよ

(五四)

一 おるを、とよみ、くよ、
まみきや、いちる、みとまよる
又 おるを、大かむや、御さけと

(五五)

一 おきん、まらどんの、むせめ、
るけむひようこむひ
又 おかしくかまらたむおうとめ
るけとひようことひ

(五六)

一 よなむる、おきて、
 煮ろこ、とよたまゆ、
 ありちやる、まさり、
 とたれと、かなしや
 又 煮ま中、おきて、
 みれつな、おきて
 又 いなくまゝ、つかい、
 いなみね、つかい

(五七)

一 きこゑ、よんたむぎ、
 あちゑらで、ま、
 まちよたれ、

おもいぐまを、
 かけて、ふさよせれ
 又 ごとむ、よんた、むぎ

(五八)

一 きこゑ、よんたむぎ、
 あかがねの、よなおし、
 中もらちへ、
 あんじおそいよ、
 みおやせ
 又 ごとむ、よんたむぎ、
 あかがねの、よなおし

(五九)

一 ひるの、やしのし、

ゑのち、ふつくるよ、
てるまもん、てりよら
又きな^{ア、ロ}大みやよ、
きな^{ア、ロ}、ちやうくちよ

(六〇)

一 てるしなの、まみやよ、
きみ、げらへて、てづて、
世のつぼよ、おぎやかもいよ、
みおやせ
又そんなの、まみやよ、
ぬし、けらへ、てづて

(六一)

一 よなぐすく、大やこ、

うらおしやの、ごよみ、
のちまさり、
あんじよ、おもむれ、
又たけきやかか、大やこ

(六二)

一 きこゑ、かよなおり、
いりて、みづこゑと、
みづなきやん、まみき、
いぢやま、まくよ
又ごよむくよなおり

(六三) あくれなのこりのふし

一 おたけ、みやてらよ、
たるか、つるならま、

(一) き、出す

ゑのち、およの、この、やちよ
 又ひかのこひらよ
 又せちの、たむる、まうどり
 まむさ、たな、いりおとちへ、
 ゑのち、およの、この、やちよ

(六四)

一きこゑ中ぐまぐ、
 まもん、ひろみやよ、
 めづらしや、さらん、てだ
 又こよむ中ぐまぐ

(六五)

一あだよやの、もりよ、
 およの、きみ、おしいで、

- (一)十日
- (二)三日
- (三)越
- (四)おもしろ

世かけ、むし、
 どりよむちやる、まさり
 又きも、あぐみの、もりよ
 又ひかの、うらの、
 みかなしの、てだの
 又たかさうアタシをア
 さとのそな、あいむるアト

(六六)

一くむのしぎや、おもしろ、
 どうか、でと、とうさ、
 みきや、むさめ、
 世かけ、ひやし、みおやせ
 又くむのしが、せるむアト

(六七)

一きこゑ、ぐしかみや、
よりたちちよ、くにのね、
みきかとし、おや國
又とよむぐしかみや

(六八)

一きこゑ、よりたちや、
みきや、てと、とうさ、
けよも、あちやむ、
みさゝけど、さりよる
又とよむ、よりたちや

(六九)

一きこゑ、となくせく、
とよむとなくせく、
きみぎや、金物のぐすく
又とよませが、ちやうぐち、
せちまさりが、ちやうぐち
又みき、よせが、ちやうぐち、
さけ、よせが、ちやうぐち
又とよませる、みやよ、
世まりが、みやよ
又あおりかた、たてゝ、
きみかたと、てづて

(七〇)

一きみよし、きみよし、きみの、
げらへよる、きよらや

校訂おもしろさうし

四〇

又きみおそい、きみおそい、きみの

又やくちや、やく、ちやや

又よよ、いしふ、きよらせ

又まへふしの、いつこの

又さよ、まらん、いつこの

(一)ア、こな
べこ

又(二)なげ、なげな、よて、きより

又ぬき、なげな、よて、きより

又きみよしぎや、まじしを

又かみよしやが、まじしを

よたま、こゝろ、よせ、ぬきよじれ

三山七

首里天きやすへあんしおそいりなし

うらおそいきたさんよんた

むさおもしろ此御さうし

天啓三年 癸亥 三月七日

第十五

十二の一七

(一) あかいんこがふねたててるふし

一 あさご、おきて、おやみかま、

かまゑつむ、まよりおやぐよ

又 あめくくち、おやどまり

又 なさどまり、おやどまり

(二) きみかなしのふし

一 あめく、よりおそいのろの、

かけてかけふさい、まよむれ

又 あめく、よりみちへ、のろの

(三) あおりやへがふし

一 あめくよやが、おもしろ、

げらへ、あやつみ、

十二の一八

(一) モ、譽ル

(二) モ、遊ハシび

校訂おもしろきうし

うちちへ、なり、あがらせ
又あめく、しぎや、せるむ

(四) きみがなしふし

一あめく、まひやり、よもい、
こねり、なよる、かなし、けさ
又いちへき、まひやり、よもい

(五) きみがなしふし

一あめく、まひやり、よもい、
^(二)お見るて、^(三)あらよや、
みちなる、^(四)おむかい、せらまへ
又いちへき、まひやり、よもい

(六) ^(五)みよりお見るてだこかおもひぐ世のあそびがふし

(一)モ、御座
するこ

一たくし、たらなつけ、てだよ、
つしや、こらいしど、かねど、やよ、
てだ、あひつかと、
このま、世と、ちよけれ
又世かる、たらなつけ

(七) まよりお見るてだこかおもひぐ世のあそびがふし

一たくし、たらなつけ、
おがむまか、いやと、
きちやらつと、
きやう、かまくら、こよませ
又よかる、たらなつけ

(八) まよりお見るてだこがおもひぐ世のあそびがふし

一たくし、たらなつけ、

國、こおり、うらの、かぜ、
ごよまちへ、つかい
又よかる、たらなつけ

(九) 老よりま人のふし

一つるこ、よくけ、あぢとゑ、
きよらや、ほこら
又よかる、よくけ
又中よしの、ゑらび、ま
又あさどれよ、世どれよ
又まつとみと、とやとみと
又ゑなん、むたて、
ちいたか、むたて

(一〇) つるこ、よくけしきやふし

(一)モ、貧

(二)モ、吉日
の事

(一)モ、嬉し
く競之事

一 おゑやふその大や、大やこが、
かない、のぼて、いけと、
てだが、ほこり、よむちへ
又またよしの、大や、大やこが、さゝげ
又けおの、よかる、ひよ
大やこが、さゝげ
又けおのきやかる、ひよ
(一一) つるこ、よくけしや、たまつ、むきやん、うちみ
ちやるがふし

一 ぐまくまの、大や、
またよしの大や、
きやうの、うち、あまやかせ
又けおの、よかる、ひよ、
けおの、きやかる、ひよ

(一二) うらおそいのおやのろがふじ

一ぐまぐまの、まみやよ、
去より、あくかへ、もちなちへ、
こがねの、またまの、みしやく
又またよしの、まみやよ

(一三) うらおそいおやのろがふじ

一ぐまぐまの、まやまごう、
げよ、み物、おむちゑる、
よりかさが、けおの、より、みもん
又またよしの、こしやてさア、エ

(一四) うらおそいおもろのふじ

一ぐまぐまの、こをもり、

こをもりむ、よむいきやま、
こしやて、もいが、
よしみよむさ、ゆごしよりア、エ
又またよしの、こをもりも

(一五) きみがなしがふじ

一ゑぞゑぞの、いしぐまぐ
あまみきよが、たくだる、ぐすく
又ゑぞゑぞの、かなぐすく

(一六) きみがなしがふじ

一ゑぞゑぞの、いしぐまぐ、
いよやよ、おそて、ちよむれ
又ゑぞゑぞの、かなぐまぐ

(一七) ねいしまいしがふし

一 系ぞの、いしぐすく、
のぼて、みちやる、まさり
又 系ぞの、かなぐまぐ

(一八) きみがなしがふし

一 系ぞの、^(二)いくさもい、
月のかせ、あまび、たち、
こもゝこ、^(三)むかてだ、さやせ
又 いぢへき、いくさもい
又 なつと、^(三)まげち、もる
又 ふよと、御ざげ、もる

(一九) あおりやへがふし

一 うらおそいよ、ちよむる、
きこゑ、おむもりや、
あぢ、げき、まだまやり、ちよむれ
又 よのつちよ、よちむる

(二〇) あおりやへがふし

一 きこゑ、うらおそいや、
あぢの、まで、おや國、
ごもゝまゑ、ごひやくさき、ちよむれ
又 ごとよむ、うらおそいや、
まよの、まで、おや國

(二一) あおりやへがふし

一 きこゑ、うらおそいや、
ままの、おや、やれと、

(一)モ、惠祖
てだの幼少
の御名に

(二)モ、御酒
之事に

(一)モ、御貢
之事

校訂おしるさうし

も(ち)やらの、かまへ、つで、みおやせ
又ごよむ、うらおそいや

(二二) あおりやへがふし

一うらおそいや、ちよむちへ
たまみしやくさし、ゆむれと、
も、ちやらと、みちへど、うらやみよる
又世のつちよ、ちよむちへ

(二三) あおりやへがふし

一きこゑ、うらおそいや、
ままの、より、なよれと
ちかむと、よりいで、やりなおせ
又ごよむ、うらおそいや、
くよの、より、なよれと

(二四) あおりやへがふし

一きこゑ、うらおそいや、
てだ、きよら、つかい
又ごよむ、うらおそいや

(二五) あおりやへがふし

一きこゑ、あぢおそいや、
うらおそいや、ちよむれと
てだが、ほこり、よむちへ
又ごよむ、あぢおそいや、
世のつちよ、ちよむれと

(二六) あおりやへがふし

一きこゑ、うらおそいや、

よし、ひがの、かまへ、もち、よせて
又よむうらおそいよ

(二七) おぎやか、へごもいがふし

一きみし、あぢおそいや、
又しと、ふきよむる、
かみ下世そむて、ちよむれ
又うまみちやも、むしけ、
又しと、ふさよむる
又のりみちやむ、むしけ、
又しと、ふさよむる

(二八) あおりやへがふし

一うらおそいの、ね國、
もゝと、つも、こがね、

(二)モ、寒水
川

うらおそいど、ありよる
又ど(か)しきの、まくよ

(二九) あおりやへがふし

一うらおそいの、ねくに、
いちへみ、さうき、げらへて、
をでみづよ、
おぎやかもいよ、みおやせ
又どかしきの、まくよ

(三〇) あおりやへがふし

一きこゑうらおそいよ、
あぢ、ゑらでま、まちよたれ、
ごもゝをゑ、おもひぐむは、ちよむれ
又よむうらおそいよ

(三一) あかのおゑつき、ねこのおゑつき、月てだの、や
まてまが、ちよとれが、ふじ

一 きこゑうらおそいよ、

げらゑ、とよみ、

よしまたま、みもん、

なさいきよもいと、まなて

又とよむ、うらおそいよ

又やまご、まきの、

いたかねの、なとかけて

(三二) へごの、まやれま、たごころ、やれまがふじ

一 うらおそいの、ちやうぐち、

まどきやよ、こかせ

又どかしきの、ちやうぐち、

まきしやよ、こかせ

(三三) ぐすくまの、まみやま、まより、あくかべもちな
ちへがふじ

一 うらおそいの、おやのろ、

よしもりよ、おれとちへ、

あまみや、よの、

世そう、せぢ、みおやせ

又まちらすの、おやのろ、

こをもりよ、おれとちへ

(三四) まませんこ、あけしの、のろのふじ

一 よき、げらへ、よきの、めづらしや、

世がほう、まがほう、みおやせ

又きみげらへ、きみのめづらしや

(一)モ、轟す
るこ
(二)モ、清ら
遊びこ

校訂おもしろさうし

又つみあかりぎや、そいつきぎや、下よ

(三五) まませんこ、あけしの、のろのふじ

一よきげらへ、けおの、うちのあやより、

(二)いぐまちへ、

(三)もちろちへ、

あまびよ

又きみげらへ、もちろうちの、くせより

(三六) 中ぐそくよしのうらのふじ

一うらおそいや、うらおそいや、

みきいと、あるな、さけど、あるな、

たしや、たしや、きよや、きよや、

よせよよが、かちへ、つかい

又どかしきや、どかしきや、

さけど、あるな、まきと、あるな

(三七) うらおそいのおやのろがふじ

一かよむ、かよ、

さふるこが、

うさしゑよ、

かみてだの、せぢ、

もちやり、ちよむれ

又かよむ、かよ、

まころこが、

うさしゑよ、

又うらおそいむ、

ちよむちやれ、

よのつぢむ、

ちよむちやれ

校訂おもしろさうじ

(三八) あおりやへがふじ

一 きこゑ、お目もりや、
 あぢの、つぢ、あぢおそい、
 つくしちやら、
 たまの、きみ、つかい
 又ごよむ、お目もりや

(三九) あおりやへがふじ

一 うらおそいの、おもいぐぢ、
 もゝごちよぢれ、
 おもひぐぢ、のち、まさり、
 もゝあぢ、^(三)あぢや、まよぢれ
 又世のつぢの、おもひぐぢ
 又ちやるとちと、なしよぢちへ

(一)モ、臣下
 するとの事
 へ

(四〇) あおりやへがふじ

一 きこゑ、たなをるよ、
 ゑいよせや、ともゝご、
 あんじおそい、とやせ
 又ごよむ、たなをるよ

(四一) あおりやへがふじ

一 きこゑ、たなをるよ、
 なつ、ふよむ、目からせ、
 あまへて、^(三)まげち、ちよ、もりよる
 又ごよむ、たなをるよ、
 ふよ、なつも、目からせ

(四二) あおりやへがふじ

(一)モ、競(イ
 サム)へ
 (二)モ、神酒
 へ

一 たなをるの、てだの、

おもひぐ世をなしよ世ちへ、

しまよ、あづけ、世ちへ

又 志むの、世のぬしの、

おもひぐ世を、なしよ世ちへ

(四三) さ世ちこか、おもろのふし

一 かゝ世もりぐをく、

ねたて、もりぐをく、

なよくら、てづて、あまやかせ

又 けおの、よかる、ひよ

けおの、きやかかる、ひよ

又 あらかみせ、てづて、

おりなくと、てづて

(四四) やまきたらをさへがふし

一 かぐ世、まつなりや、

あめそこの、こがね、みやよ、おれぼしや

又 物、まつなりや

(四五) うちいてまきたちこがふし

一 かぐ世、まつなりや、

おれぼしやの、あめそこ、

おれて、おれなおさ

又 物、まつなりや

(四六) 老よりもり、ちよる、みかなしの、てだがふし

一 世かいきよが、てりやる、^{アガ}

もちつきよ、ともこの、

かたな、うちの、さよみ
又見かいきよが、かりき、
たうむるよ、ともゝこの

(四七) 大ましのたらつがふし

一いちへき、ぢやなの、おきてアキよア
ぢや國、ぢやなの、おきてよ、
ぢやくよゑらぶ、ぢやなの、おきて
又いきやる、おやのなちへがよ、
いきやる、あさがなちへがよ
又カとき、カとりやり、カなちへるカよ
又カか、カとりやり、カなちへるカよ

(四八) うちいてまよりふくしきようがふし

一ぢやなのしと、ねいゑやり、

(一) 時とる事

たうのし、なむぢやこがね、
もちみちゑる
又おなとのと、ねいゑやり

(四九) 大ましのたらつがふし

一ぢやなの、ひやりよもい、
いちへき、ひやりよもい、
かなてあんじよ、おもてれて
又ぢやなのよかりアゑアまア
うみ、ちかさ、あもん
又アどぎやアこ、アいよ、アつく、
いぎよも、たこつく、
又うみむ、おやもん、
たカきやも、おやもん

(一) モ、海の事

(五〇) 大ましのたらつがふじ

一ぢやなの、世々ぎよら

せめうち、かねまる、

うらきらしや、かよある

又きこむな^{アハ}れ、ごもり

おもかげの、ごもり

又中ぐま^クく、みれと、

又^ニあらみちよ、ミれと

又^ニあら、ぬのも、と^ニゑて、

ま、ぬのも、とへて

(五一) うらおそいおもろのふじ

一ぎの^ニん^ノ、の^ノの、

ゑさもりよ、おれ^ニちへ、

しまかねて、

あんじおそいよ、みおやせ

又ねの^ニまの、の^ノの

(五二) うらおそいおもろのふじ

一ぎの^ニん^ノ、て^ノだの、

よほし、みね、ちよ^ニちへ、

大^ニた、かち、みよれと、

又^ニろちやねの、

よりなびく、きよらや

又ねのしまのて^ノだの

てんかぎ五十二

(一)モ、稻之
事爪生茂た
る^ハいふ
(爪ハ細字
ニテ書スア
ニハ但トア
リ)

(五三) たいらのこのがふし

一きこゑ、きみごよみ、
 せたか、きみ、ごよみ
 うちちへ、みもん、きみ
 又きたたんの、みやよ
 あがなさの、みやよ
 又たまよせが、まへよ、
 よりたちが、まへよ
 又もくちの、つみ
 やそくちの、なりよぶ

(五四) ぢやうや、おゑまのしがふし

一きたたんよ、おゑる
 うらの、世のぬしの、

せざよ、めづらがて
 又けおの、よかる、ひよ、
 けおの、きやかる、ひよ
 又大みきと、つくて
 さかくらと、たてよ
 又かつれんよ、おゑる、
 おもひせざ、つかい
 又なおが、ひきいちへ、物、
 なおが、てぶと、もの
 又いとおどしの、よろい
 まいと、おどしの、よろい
 又おれど、ひきいちへ、物、
 おれど、てぶと、物

(五五) きこへきみがなし、かみ下の、天ごよみがふし

一 たらこ、よしどのよ、

世かる、よしどのよ、

おやつきまよ、よま、ちよまれ

又よしどの、世のぬしの、

まさりきよま、なしよまちへ、

おやつきまよ

又きたたんの、てだの、

おもひぐまと、なしよまちへ

又けおの、よかる、ひよ

けおの、きやかる、ひよ

(五六) いちやまなかおもろのふし

一 あんの、つのけたち、

あんの、おやけたち、

くもか、いきつきよ、

とよみ、ゆむる、たかさ

又きたたんの、てだの、

ちやらもいと、なしよまちへ

又ちやらもいが、けよまよ、

きみし、てだ、みちやる

又おもひぐまの、けよまよ、

(五七) やぎから、のぼる、まぢやたりや、よろいがふし

一 きたたんの、世のぬし、

あがひやし、うたえ、

世そむて、ちよまれ

そたへの、つかい

あがひやしう、たえ

(五八) きたたんの世のぬしあがひやしうたえがふし

(一)モ、我が
(二)キ、拍子

一きたたんの、世のぬし、

おさと、つるぎ、さし、よむちへ、

さしやり、ふさい、よむちへ

又そへへの、つかい、おさと

(五九) ぐしかむの、ちやうくちのふし

一やらの、へたどのが、

おみてつり、よりこ、あまへ

又さもの、へたどのが

(六〇) 夫よりちよむちへからがふし

一やら、まさりきよが、

夫よりくよ、おてから、

あるなど、ある

又さま、まさりきよが、

見かおやくよ、おてから

(六一) 夫よりま人のふし

一ぐをくまの、

あかま、みやよ、

げらへ、よしみや、

あしやげ、げらへ、

又やらさ、たけの、

ひかさ、まつよ

(六二) 大ざこのげまのおもいあぢのふし

一あさと、おきて、おやみかま、

いくさ、せぢ、たかど、

夫まうち、ごよむ、あぢおそい

又けおの、よかる、ひよ

(一)モ、讀谷
山間切の名
所々

校訂おもろさうし

又やらの、ちやうぐちよ
又大^(三)け、たうをるよ

(六三) さまちきよがふし

一あかま、めづらしや、
あかま、きみ、きよら、
あまへなよら
又さまのろ、むきくろ
さまかさに、まられ、
又もちろきやと、さだけて
ひまよろきやと、まだけて

(六四) いちの、なよりきよが、さまね、よらかさがふし

一やらのいふさきよ、
やらの、さまさきよ、

又まま、おやせ國、
おやせたくみ

又かみの、おしかさと、
まむの、やりかさご
又みも、うちかむちへ、
みそて、やりかむちへ
又いみやま、なま、ふてつ
いみやま、いご、ふてつ
てんかを十二

(六五) あおりやへがふし

一よんたむぎ、おむる、
おもい、またちよもい、

(二) 讀谷山之
事

校訂おもしろさうし

げらへ、世ほあり、ちよむちへ
さきよだま、おむる

(六六) ふるげものろのふし

一 おぎの、たちよもいや、
たう、あきない、とゑらちへ
あんじよ、おもむれ、
又 いちへき、たちよもいや

(六七) ふるげものろのふし

一 おぎの、たちよもいや、
なみいちへ、このみちへ、きよもん
又 いちへき、たちよもいや

(六八) ふるげものろのふし

七六六

(一) モ、嬉し
きと云事

一 おぎの、たちよもいや、
いちへき、たちよもいや、
かゝみ、いろの、
もでみづよ、みおやせ
又 おぎとけすうまた、
まげち、かめ、とむて
又 おぎとけま、あまた、
御さけ、もち、とむて

(六九) おやなのよきよらがふし

一 大ましの、たらつ、
たらつ、みちへつきや、
おぎむ、さかやかせ
又 さきよだの、たらつ

第三十五

三五

三四

(七〇) ひるやしゑのしがふし

一大よし、の、たらつ、

たらつ、みちへつきや、

きむ、ひろく、もちやり、

げまよ、あぢよ、おもむせ

又さきよだの、たらつ

たらつ、みちへつきや

(七一) ひるのやしゑのしがふし

一大よし、よ、よむ、

きこゑ、なよくら、

あが、まぶる、あぢおそい

又さきよだよよむ

又まらし、おてやちよも

みちよ、おてやちよも

又いちやぢや、きしかめと、

たるが、て、おむうな、

きこゑ、なよくら、

又かなぢや、きしめかと

いりきや、ほろめかと

又やつら、ほろめかと

(七二) へごのおやのろがふし

一せなと、とむかちか、よ、

せなと、ゑけり、まやか、よ

又せなと、かむひらよ、

せなと、いしよ、ひらよ

(七三) 大よしのこらつがふし

校訂おもしろさうし

一 ひるの、やせのし、

ゑのち、ふつくろよ、

おやひやし、あまへて、つかい

又 けおの、よかる、ひよ

けおの、きやかる、ひよ

(七四) 大ましのたらつがふし

一 ひるの、やせのし、

ゑのち、ふつくろよ、

みちへ、おて、いき、せらよ

又 けおの、よかる、ひよ

けおの、きやかる、ひよ

(七五) ちやうおやおゑまれしがふし

一 きなむ、大みやよ、

きなむ、ひろみやよ、

てたきよら、つかい

又 けおの、よかる、ひよ

又 けおの、きやかる、ひよ

てんかむ十一

首里天きやすへあんしおそいがなし

勝連具志川おもろの御さうし

天啓三年 癸亥 三月七日

第十六

(一)モ、庭

(一) おごゝきみまさりがふし

一 おおりやへが、みやの、とよみ、
 あんじ、ほこる、おやみやの、とよみ
 又せだかこが、みやの、とよみ
 又かつれんの、み^こやの、とよみ

(二) のちあがりかふし

一 おもろ、このをらよ、
 毛原の、くち、まさきや、
 かつれん、ゑらびやり、ちよとれ
 又せるも、このをらよ
 又きこゑ、あまじりや、
 くよの、おごぢや、なし、よとちへ

(三) さとちきよがふじ

一 かつれんの、あまじり、
とひやくさ、ちよじれ
又(二)きもたかの、あまじり
又 かつれんど、よせて
又 きもたかと、よせて

(一)モ、心高
きを云

(四) さとちきよがふじ

一 きこゑ、おじもりぎや、
おれて、あまび、よりじれと、
かみまもの、そかなまる、み物
又 じよむ、おじもりぎや
又 けおの、よかるひよ

(五) さとちきよがふじ

一 せだか、おじもりぎや、
おれて、ふれまへと、
まま、かよて、くる、やよ
又 きみの、おじもりぎや
又 ま物よせ、ちよじちへ、
いけとなれ、ちよじちへ
又 さまか、おそい、ちよじちへ、
をま、ひやもぎ、みやれと

(六) さとちきよがふじ

一 あがる、もちつきぎや、
きみの、もちづきぎや、
きよらやの、たまの、みうち、みちやる

(一)モ、か
りおんのあまつ
らおんちや
二(二)モ、か
れん城のつ
内

又たかへその、こらか、

むかいたる、ほこらしや

又あが、なさいきよ、こらか

(七) こゑじのがふじ

一かつれんじ、てだ、むかて、

ぢやう、あけて、

まだま、こがね、よりやう、

たまのみうち

又きむたかの、月むかて

又かつれんじ、

ささむ、みやも、

あんじ、ゑらぶ

(八) あおりやへがふじ

一かつれんの、あまじり、

たま、みしやく、あり、よな

きやか、まくら、

けれど、いちへ、とよま

又きむたかの、あまじり

又ま^{ア、ヒ}ま^{ア、ヒ}りの、みそでの、あんじ

又くま^{ア、ヒ}りの、みそあんじ

又まより、おむる、てだこも、

たま、みしやく、ありよじれ

(九) さむちきよがふじ

一かつれんの、たゝみきよ、

ま物よせ、みやらよ

又きむたかの、たゝみきよ

又あや、てもち、とぎよじちへ

(一〇) うちいちへぬふるげものろのふじ

一つるこ、たしよ、よりよれ、

みるめの、かなしや、

そま人を、よりよれ

又かつれんの、てだ

(一一) うちいちへむふるげものろのふじ

一もちつきぎや、

かみよしやが、おれたち、

まの、うらよ、ごよませ

又かつれんの、たゝみきよ、

まられゝ

又きむたかの、たゝみきよ

又まが巴の、なみ、うちくち、

おれ巴ちへ

(一二) うちいちへぬふるげものろのふじ

一つるこ、よくけしや、

よかる、よくけしや、

急、け、人おそて、みよ巴れ

又うまがなし、めしよ巴れ

又あからかさ、さしよ巴ちへ

(一三) やまぐすくげらへきよらもりがふじ

一もちつきや、けさからの、ぬしきみ、

あまべく、やちよくだ

又もちづきや

又もちづきや、まが巴よ、おれ巴ちへ

又もちづきや、なみ、うちくち、おれ巴ちへ

又もちづき、よとと、あから^{アナシ}まよ、あむし^{アムシ}せる
又よないまやり、あかぐちやよ、めいるな

(一四) やまぐまぐげらへきよらもりがふし

一かつれんの、とよみ、てだ、
もゝうら、とよみ、てだ
又きむたかの、とよみ、てだ
又かつれんの、いちや、ぐち
又きむたかの、かなや、ぐち
又かみからの、てる、まどま
又下からと、とま、がとよ

(一五) おらおそいがふし

一かつれんの、あまむり、
きこゑ、あまむりや、

ちやくよの、とよみ
又きむたかの、あまむり

(一六) あおりやへがふし

一せだか、おむもりや、
きみの、あまむりや、
せぢだか、あんじおそい、
おやと、まなよむれ
又かつれんを、げらへて、
げらへ、かなしけや
又きむたかえ、げらへて

(一七) ぐしかのちやうぐちがふし

一おとゝきみ、きみまさり、
あんじの、つんし、

校訂おもしろさうし

おとぢや、より、まさり

又あねの、きみく、まない

(一八) あかのこがよくもまたもがふし

一かつれん^{ア、シ}

なおよぎや、たどるる、

やまどの、かまくらよ、たどるる

又きむたかえ、なおよぎや

(一九) ふねたてまがふし

一かつれん、まよさくもい、がなし、

おなり、ゑけり、ちよ^{ア、カ}い、うなしけさ

又きむたかの、まよさ

(二〇) あがるいいこのふし

一あがるいの、大ぬしぎや、

まへから、こがね、もちちへ、

あよそろて、よ^{ア、カ}い事、みおやせ

又てだが、あなの、大ぬし

(二一) やまぐまぐげらいきよらのふし

一かつれんと、いきやる、かつれんが、

ままのうらよ、ごよませ

又きむたかえ、いきやる、きむたかが

(二二) うらおそいふし

一ひやむぎ、かなもりよ、

いちへき、かみまらたる、

まつらいを、

ことなおし、かみやれ

校訂おもしろさうし

又ねたて、かなもりよ

(二三) うらおそいふし

一 たけ、きよらの、おやのろ、

あがるいよ、かよて、

世の、つぼよ、

おぎやかもいよ、みおやせ

又けさこの、おやのろ

(二四) うらおそいふし

一 いけぐま、おやのろ、

あやご、とし、かけむちへ、

しま、かねて、

おぎやかもいよ、みおやせ

又まちらまの、おやのろ

(二五) うらおそいふし

一 きこゑ、みやぐま、

ゑらび、いちへの、まかね、

ままよりや、まさり

又とよむ、みやぐま

(二六) うらおそいふし

一 みやぐま、もりよ、

げよ、み物、おれたる、

かみ、ゑらびぎや、

けおの、より、まよむ、て、

又けおの、よかるひよ

(二七) うらおそいふし

又だが、とりよら、だが、うちよら
もゝと、ふみ、あがりか、あせ

(三二) ふさよらやがふし

一きこゑ、あらと、^{うた}ゑや、

とよむ、あらとゑや、

あまる、のち、

しちや、ちやよ、みおやせ

又月並よ、あまり、よけれ

月並よのこりよけれ

(三三) いべのいのりがふし

一きこゑ、ぐしかむよ、

まけちなと、まさらせ、

ままよの、かほう、さうせ、^いちへみ

又とよむ、ぐしかむよ

(三四) うらおそいふし

一ゑせの、もりぐまぐ、

やつまたが、よりたち、

又かみ下、み物せる、よりたち

又ゑせ、つちぐすく

又あてき、かたをるよ

(三五) うらおそいふし

一ゑせの、もりぐまぐ、

ゑせの、つちぐまぐ、

ゑせの、かほう、ぐよ

又ゑせ、のろの、おやのろ、

又けおの、よかる、ひよ、

(一)神酒

校訂おもしろさうし
まげち、もむよ、まへて

(二)人名

(三六) うらおそいふじ

一 忍ま、のろの、せりきよ、がね、
のろ、のあし、ねふさ、やくめさ、
志よりもり、こがね、つで、みおやせ
又 けおの、よかるひよ
せりきよ、かねのろの

(三七) 月てだのて、かつちよむれがふじ

一 忍まの、たう志ま、
忍まの、おやぐよ、
きもたか、もり、
おど、みちやる
又 ころる、かつれん

(一)モ、是と

(一)モ、天願
村の古名

又 ころる、きもたか

(三八) うらおそいふじ

一 てくらん、のろの、
くよ、てもち、みおちへよ、
かつれんま、くよ、てもち、ぐすく
又 むらいきよ、のろの
又 あんじおそいぎや、おより
かつれんよ、おれて

(三九) やまきたうまさへがふじ

一 てくらんの、たうし、
たらち、ちやめ、
かしや、みつめ、てだ
あくちよ、あまい

又てくらんの、まやま、

あがるいの、まやま

又巴か、てだよ、つかい、

世の、ぬしよ、つかい

(四〇) こへじのがふし

一ぐしか巴の、巴が、おやぐよ、

きよらや、この、いけら、巴しや

又(二) まちらまの、かみよしや、

こがね、おどん、なむぢや、おどん、きよら

(四一) こへじのがふし

一たいら、まさりきよが、

福か、そんた、のぼて、

おほた、をる、みやれた、

(一)モ、ぐじ
か巴の返し
言葉

(二)モ、人名
こ

まらち(や)ねの、

よりなびく、きよらや

又どよむ、まさりきよが

(四二) こゑじのがふし

一あげなまの、もりよ、

しま、たるめ、なるし、

まま、たるめ、あんじおそい、

みおやせ

又あげなまの、もりよ、

くよ、たるめ、なるし

(四三) こゑじのがふし

一おきんの、まらどん、

まらどんの、むまめ、

(一)モ字堅

校訂おもしろさうし

あおうとひ、やうかなとひ
又おなしく、かたら、たむ、おうとめ
おなしく、またま、たむ、おうとめ

(四四) こゑじのがふし

一ぐしかむよ、おむる、
あめとく、ちやらの、
おそいや、ちやらつ
又おやぐよ、おむる

(四五) こゑじのがふし

一せいやる、くよ、きよらが、
なさが、げらへ、かみ、かけて、
なさいきよ、とよませ
又げらへ、くよ、きよらが、

(一)モ、父が御爲と云こと

(一)モ、聞得

*おたねハお
うねニアラ
ヌカ、ト
(た)ト
ハ混同シ易

又(二)あがなさが、おより
又もりやいこが、おより

(四六) こゑじのがふし

一おゑと、とよみ、くよ、
御さげや、いちへみど、まよる
又おゑと、^{(二)ア}きくやれ、くよ
まみきや、いちへみど、まよる

(四七) こゑじのがふし

一ぐしかむの、おや、おたね、うけら、
たな、とよで、うけた、事、
ちやくよ、とよみ、おたね
又おやぐよの、おたね

(四八) うらおそいふし

一 てくらんの、のろの、

たしち、たしち、

まや、めかしや、みちへ

よかる、おらよ

又 あがるいの、みやよ、

たら、まぢや、めかしや

恩納より上のおもろ御さうし

(一) おぎやかへごもいがふし

一 おもろ、こたらつが、
 ひやくさ、おみしやく、
 さしよとせ、
 やぐめさよ、
 うも、いき、のかを
 又きんの、よの、ぬしよ、
 ひやくさ、みしやく、

(二)

一 おんな、やきしまよ、
 あふそ、やきしまよ、
 もとご、ようを、ちよとれ
 又あさどれが、まよれと、

(一)モ、恐敬

十二の六三

ようどれが、まよれと

三 いちのなよりごよがふじ

一 おんな、 やきしまよ、

あふそやきしまよ、

だりま、 ごよみ、 きかれ、

又 おんな、 おてや、 ちよも、

あふそ、 おてや、 ちよも

又 まもの、 ごよみ、 いくさ、

まもの、 きかれ、 いくさ

四 きみがなしふじ

一 おんな、 やきしまよ、

あふそ、 やきしまよ、

みれども、 あかん、 てだ

又 けよの、 よかる、 ひよ、
けおの、 きやきやる、 ひよ

五 うちいてゝごしま島そいがふじ

一 なごのこてるい、 ちけ

又 みもん、 こてるい、 ちけ

六 みやきぜんきこへてだのふじ

一 なご、 さかい、 おや、 さかい、 きよもの、

おやぢやうあけて、 せん、 いれ、

又 おきて、 よしや、 もの、 いしや、 きよ、 もの

又 まえねじの、 たれ、 まけち、 きよもの

又 あじ、 やぶの、 せよ、 たまり、 きよもの

七 かねぐすくのろまぶりよりるおまりふじ

一きせのしや、^二が、おごぢや、
いみや、ある、みや、おたる、
けよから、^三をしみらよ
又きちり、こいて、なごのうち、

(八)

一ゑざしかの、みやよ
又がぶまか、みやよ

(九) きみがなしふし

一いちへき、かむかみや、
おく人、やれと、
おもひ、てるひ、よらちへ
又ちやくよ、かむかみや

(一〇) あおりやへふし

一きこゑ、うちたかが、
げらへたる、まをねじ、
あんじおそいが、
^二くむこ、よせ、ぐまぐ
又ごよむ、うちたかが

(一一) きみがなしふし

一ぎんか、^二なりよもひや、
せち、たまぐまぐ、
やまどの、およる、かよある
又いちへき、なりよもひや

(一二) きみがなしふし

(一)モ、成程
見事成と云

(二)モ、人名

一 ぎんか、なりよもひが、
みやきせん、のぼて、
ごくみつと、げらへて
ごくみつり、

御くらの、ごよみ

又 いちへき、なりよもいが

(一三) あおりやへふじ

一 きこへ、いけぐそく、

みらんまが、ほるび、

きこゑ、およ、

みちやまが、まさり

又 ごよむ、いけぐそく

(一四) ちやうかねよらぬきふじ

一 へどの、なりせりきよ、

うらの、なりごよみ、うてと、

よりかさが、ほこて、

又 やじれ、なりせりきよ

(一五) せなごもかちがふじ

一 へどの、みせりきよよ、

やよらく、あまへ

又 やじれ、みせりきよが

(一六) やよらくがふじ

一 へどの、おやのろが、

よさよやく、ほこら

又 へどの、のろかよ

又 へどの、大たまよ

校訂おもしろさうじ

又へどの、なかたまよ

(一七) おもろねやがりがおきなむごよみ
まもんうちがふじ

一へどの、あまもりよ、おせや

へどの、きりくちよ、おせや

おせや、やちよく

又けよの、よかるひよ、

けよの、きやくくる、ひよ

(一八) へこのまやれむがふじ

一へどの、たごころ、

おもひ、たごころ、

げよ、みちやる、

だよ、みちやる

又おんな、やきちまよ、
あふそ、やきちまよ

(一九) へこのたごころがふじ

一へどのし、やれえ、

たごころ、やれえ、

のりや、よかるもの

又むがうらの、ならい、

むがくよの、ならい

又あむ、みき、つくて、

きみ、まき、つくて

(二〇) あおりやへふじ

一きこゑ、みやきせんよ、

これる、くまなか、あぢ、

もゝあぢ、おそてちよとれ
又とよむ、みやきせんよ

(二二) なごさかいがふじ

一みやきせん、きこへ、てだ、
天より、下の、とうよせ、てだ、
又とよむ、くよ、きこゑてだ

(二三) あおりやへふじ

一きこゑ、みやきせんよ、
あぢ、ゑらでま、まちよたれ、
かけふさい、よのふさい、まよとちへ
又とよむ、みやきせんよ

(二四) あおりやへふじ

(一)モ、十日
てハん
(二)モ、三日
間有てん

一まかねこが、おもろ、

どか、でゑと、どうさ、

みきや、とさ、

よもち、ひやし、みおやせ

又きこゑ、みやきせんよ、

どか、でゑと、どうさ

(二四) あおりやへふじ

一きこゑ、みやきせんよ、

大みきの、みち、あがる、ぐまぐ

又とよむ、みやきせんよ

(二五) あおりやへがふじ

一きこゑ、みやきせんよ、

やせの、えなさきよ、

校訂おもしろさうし

よれど、まて、よむ、

いきのかさ

又とよむ、みやきせんよ

(二六) かつれんのごよみてだがふし

一ちごとのが、さゝげ、

そるて、おや、ひやし、あまへ

又ぐしけんの、かない

(二七) うちいてまきよりちよぢちへからがふし

一なかひやワナシ、まやワ、おむる、

あれよしやよ、

いみやど、おれて、なよる

又せとひやワナシ、まやワ、おむる、あれ

(二八) よゝせきみのふし

一うちま、おきて、

およさんこ、

ゑ、け、ほこら

又あたりやま、

かくちやま

又くぢげ、うゑて、

なでせ、うゑて

又つゞみ、つくて、

なりよぶ、つくて

(二九) よきげらへがふし

一まませんこ、

あけまのゝ、のろの、

校訂おもしろさうし

もゝど、ひやし、

うちあがる、なさいきよ

又なりひやまやの、

せどひやまやの、

おや、のろ

(三〇) ちようやうへましがふし

一せりかくの、のろの、

あけしの、のろの、

おり、あけたる、きよらや

又いし、へつと、こので、

かな、へつと、こので

(三一) きみがなしふし

一きこゑ、うちたかが、

(一)モ、人名

十二の六六

(二)モ、島の
かしら
の女房

(一)モ、人名

お見たて、ちよむちへ、
つゝみ、ごへ、
きゝぼしや、しよ、むちへ
又ごよむ、うちたかが、
おつお、だけ、ちよむちへ

(三二)

一きこゑおしかさが、
やちよくたよ、あらせ、
むらひきよ、
さしふ、おしかりて
又ごよむ、おしかさが

(三三) きみがなしふし

一いちへな、あうこもい、

第十七

ちやくよ、煮うこもい、

巴かまつが、ごくらし、

ひやよや、中ぐまぐ、

中ぐまぐ、のぼて

又つちや、中ぐまぐ、

中ぐまぐ、のぼて

(三四) うちいてまねいしまいしがふし

一 きこゑ、みやきせんよ、

ささね、よらふさよ

又ごよむ、みやきせんよ

(三五) きたたんの世のぬしがふし

一 てるひが、ひやし、てうちちゑ、

よりぎや、きよらや

又おもひぎや、ひやし

(三六) きたたんの世のぬしがふし

一 てるひぎや、ひやし、

けれど、おや、おもひ、ひやし

又おもひぎや、ひやし

(三七) きたたんのよのぬしがふし

一 てるよもひ、がなし、

あが、おなごやてや、

うちちへ、か、おらまし

又おもい、がなし

(三八) うちいてまやらいふさきがふし

一 いちの、なよりきよが、

校訂おもしろさうし

ささね、よらふさよ、

なから、げらへの、ごよみ

又きこゑ、みやきせんよ、

ささね、よらふさよ

又ごよむ、みやきせん

(三九)

一 てるひ、よもい、がなし

おみかうの、めづらしや、てだ

又おもひくがなし

(四〇) あおりやへふし

一 いぢへな、おや、のろよ、

おしかさよ、まられ、

やへりみや、くりこ、

(一)モ、御顔

つで、みおやせ

又ゑひや、のおやのろよ

又さなれ、おやのろよ

(四一) あおりやへふし

一 かよきや、おやのろよ、

きこゑ、まねこせ、

も、てづられ、

又きこゑ、まねこせ、

あがたかべ、おやのろ

又あかのこよ、をまちやる

ねこのこよ、をまちやる

(四二) あおりやへふし

一 あかのこが、

校訂おもしろさうし

いちへな、おて、みれと、
みやきせんと、

御さけど、もりよる

又ねこのこが、

ゑひやよ、おて、みれと
みやきせんと

(四三) きなむ大みやまでだきよらつかいがふし

一ちやうや、おへまし、

かほう、とき、とりやり、

ひやくさ、ぎやめ、

おほこり、まよむちへ

又ゑひやの、二となれ、

かほう、時とりやり

又ゑひやの、ふうまむり

(四四) あおりやへふし

一いゑの、あがるいよ、

よのつぼよ、

みしやく、おまかない

又となれ、あ(が)るいよ

又となれ、おむる、あんの

又(こ)むけ、おむる、あんの

(一) 遠方

まま中おもろのさうし

(四五) ねうしの時がふし

一みやぐまぐ、こりねし、

よかる、こがねし、

十八の一

校訂おもしろさうし

こがねしよ、こいや

又いなふくよ、のぼて、

てだが、まへ、のぼて

又かな、かふと、こいや、

かなよろいや

又あが、おとちや、三人、

あが、おとちや、四人

(四六) みやぐをくこかねしがふし

一さんこ、ごよたし、

よかる、ごよたし、

てだきよら、

まぶる、てだ

又大たうの、まへよ、おとち、

こひつこや、てだ、きよら

十八の二

(二)ア、人名

又いなふくの、さんた、
よりたちの、さんた

(四七) ゑさごおきておやみかまがふし

一ゑなふくの、よさり、

げらへて、ちよちへ、

みやかり、ほこり、よちへ

又くよの、ねの、よさり

(四八) うらまていふし

一たかか巴の、みづの、

こすもの、やてや、

のきあげ、みづ、

かいなでみづ、せまし

又おや、か巴の、みづを

十八の三

十八の四

校訂おもしろさうし

(四九) きこへきみがなしおかて、よろい目とくがふし

一大ぐまぐ、おむる、

よかけよせ、あぢの、

みちや、つれが、みもの

又くよねおむる

又いごかき、つかい、

ねくよの、つかい

(五〇) あおりやへふし

一大ぐまぐ、おや、いくさ、

ぢやくよ、とよみ、いくさ、

みちへど、みや、あぐむ

又くよのねの、おやいくさ

(五一) あおりやへふし

一きこゑ、大ぐまぐ、

みあがる、ぢやう、たて、

まげち、もち、よせれ

又とよむ大ぐまぐ

(五二) じなのおもやこがふし

一おもこ、なつらしや、

あさご、まなて、かなて、

あぢよ、おもむれ、

又じなの、あしが、かない

(五三) いつかなつた、しやがふし

一ひやくな、うらなへ、ふけと、

(一)モ、神酒

あおりやへ、あんどおそい、まぶら
又見るこらへ、うらむへ、ふけと
又おれづむ、けもりやか、たてと

(五四) うろしろたちよいふし

一 ひやくな、うらまろ、ふけと、
(二) うらくご、むかきみ、つかい
又むかうらと、うらまろ、ふけと
又てかまと、こをのまな、さき、きよら
又かいやるい、なみまな、きよら

(五五) 中ぐまくおもろのふし

一 見なの、おもやこが、
みやり、ぼしや、
ひやくなの、よせもりがなし

(一)モ、座敷
の愛装シト
云

又見なの、まちやりこが
又かつお、だけ、のぼて

(五六) ひやくなからのぼてがふし

一 ひやくな、から、のぼて、
ねくよ、から、のぼて、
まま、そるて、
ごもまへ、みやおやせ
又まよりもり、ちよむる、
おぎやかもい、がなし

(五七) ひやくなからのぼてがふし

一 ひやくな、から、かねて、つれる、
つれがほうお、まより、おやぐよ
又さき、よだから、かねて

校訂おもしろさうし

(五八) たくしたらなつけがふし

一 たまぐをく、おむる、
 煮まの、ぬし、てだよ、
 もゝ煮まの、
 ふう、まむり、煮よむちへ
 又くよね、おむる
 又けおのよかるひよ

(五九) こいじのがさしふごのむらがふし

一 たまぐをく、もりぐすく、
 みやこより、
 もゝとを、ちよむれ
 又たゝみきよ、おきぐむよ

(六〇) 煮まのうらがなし

一 あまつゝの、あめたもを、もらね、
 あまつゝの、あいつまり、いきやかせ
 又あまつらと、くれたもを、もらね

(六一) たくしたらなつけのふし

一 たまぐをく、おむる、
 いちへき、きよら、てだよ、
 このかけ、つめて、ちよむれ
 又くよねよ、おむる、
 いちへき、きよら、てだよ

(六二) こいじのがさしふごのむらがふし

一 (二) ちむこ、たまぐをく、

(一) モ、見事
なりと云事

(二) モ、器量
勝たるを云

(二) 神人の事

十八の一九

(一) モ、寶劍
手金丸の異
名

校訂おもしろさうし

またま、もりぐまぐ、

大ききみよ、去られ、

又みちへりきよが、さしふ、

かみよしや、もつき

(六三) あおりやへふじ

一 おきやかしが、おもしろ、

つくしちやら、おぼいて、

たまがえら、

ふうくよ、よせぐまぐ

又おきやかしが、せるむ

(六四) こいこのふじ

一 くもこ、もり、

またま、もりぐまぐ

十八の二一

かねがなし、

きみ、ほこり、

げらへて、おちやる、まゝ人

(六五) あおりやへふじ

一 くもこ、もりぐまぐ、

お目もりた、てづて、

よ、まさる、ひやし、

うちちへ、みおやせ

又まだまもりぐまぐ

(六六) あおりやへふじ

一 きこゑ、お目もりぎや、

くもこ、もり、おれむちへ、

なむぢや、こがね、

第十七

十八の二二

校訂おもしろさうじ

もちよる、きよらや

又ごよむお世もりぎや

(六七) あおりやへふじ

一きこゑ、あやてよぎや、

まへの、ひやし、

めづら、ひやし、みおやせ

又ごよむ、あやてよぎや

(六八) あおりやへふじ

一きこゑ、あやの、てよぎや、

まへ、くもこもり、おれむちへ、

まへの、ひやし、

めづらひやし、みおやせ

又ごよむ、あやのてよぎや

(六九) あおりやへふじ

一よだいきよが、おもろ、

つくし、ちやら、おぼへて、

げらへて、ごもゝと、ちよむれ

又おぎやかしがおもろ

(七〇)

一やかぶ、のろ、けそや、のろ、まへと、

こち、たらよる、ごよみ

(七一) 中ぐまくおもろのふじ

一いごかまよ、お世る、てだ、

ゑぞのてだ、みちゑ、みち、まむて

又やかぶ、かち、あよも、てだ

校訂おもしろさうじ

(七二) うちいちへも大きこのてだのふじ

一いごかぢ、てだ、あ地おそい、

あまへて、かるてぶ、こよむれ

又けよの、よかるひよ、

けよの、きやくくるひよ

又うらさきに、つかい、

がなとよ、つかい

(七三) 大きこのてだのふじ

一いごかぢ、てだ、あ地おそい、てだ、

よ、そむる、ひやし、

うちちゑ、みおやせ

又けよの、よかるひよ、

けよのきやくくるひよ

又くらまも、たちゑ、

みごろのも、たちゑ

又むたさと、むたせ、

くださと、くだせ

(七四) うちへいてをあるへこのふじ

一ちねん、おむる、むかきよ、やぐめさ、

ふなこし、こましこましの三〇や

又さきよ、おむる、むかきよ、

むかいきよ、やぐめさ

ふなこし、こましこましの三〇や

又さきよ、うむる、むかいきよ

雪月朔日巳之刻よ

首里天きやすへあんしおそいかなし

志ま中おもしろ御さうし

天啓三年^{癸亥}三月七日

第十八

(一) さんこそよだしがふし

一 みやぐま、こがねし、

ゆかる、こがねし

こがねしよ、こいや

又 原なふくよ、のぼて、

てだが、まへ、のぼて

又 かなかふと、こいや

かなよろい、こいや

又 あが、おとちやの、三人

あが、おとちやの四人

(二) みやぐま、こがねしがふし

一 さんこ、こよだし、

ゆかる、こよだし、

てだきよら、まさるてだ

又大たうのまへよ、おどち、

こいつめや、てだきよら

又ゑなふくの、さんた、

よりだちの、さんた

(三) あさごおきておやみかまのふし

一ゑなふくの、世、まさり、

げらへて、ちよちへ、

みやかり、ほこりよちへ

又くよのねの世まさり

(四) うらおそいおもしろのふし

一たかり世の、みづと

よふせ、ものやてや、

ぬきやけ、みづ、

かいなで、みづせまし

又おやか世のみづと、よふせ

(五) きこへきみがなしおそてそろへちへがふし

一大ぐま、お見る、

世かけよせ、あちの、

みちや、づれが、み物

又くよのねよ、お見る

又いごか世の、つかい、

ねくよの、つかい

(六) あおりやへがふし

一大ぐま、おやいくさ、

ちやくよ、ごよみいくさ、

校訂おもしろさうし

みちへど、みあぐも

又くよのねの、おや、いくさ

(七) あおりやへがふし

一きこへ大ぐまぐ、

み、あがる、ちやう、たて、

まげち、もちよせて、

又ごよむ大ぐまぐ

(八) 旦那のおもやこがふし

一おたこ、なつくしや、

あさと、まなて、かなて、

あなじよ、おもむれ、

又旦那の、あら、かない

又ひやくな、そつ、かない

(二)モ、御酒

十七の五二

あさと、まなて、かなて

(九) いつかなつたゝまよがふし

一ひやくな旦那、うちをゑ、ふけと

あおりやへ、な^(三)さ、まぶりよ旦那へ

又旦那がうらと、うらむへ、ふけと

又おれづむ、けもりやが、たてと

(一〇) うらまろたちよがふし

一ひやくな、うらまろ、ふけと、

うらくと、旦那かきみ、つかい

又旦那がうらと、うらまろ、ふけと

又てかまの、こば、まなさきよら

又かひやるの、なみまな、さきよら

十七の五三

(二)モ、父心

十七の五四

校訂おもしろさうし

(一一) 中ぐまくおもろのふし

一 旦那の、おもやこが、
みやり、ほしや、

ひやくなの、よせもい、がなし

又 旦那の、まちやりこが

又 かつお、だけ、のぼて、

みやり、ほしや

(一二) ひやくなからのぼてがふし

一 ひやくな、から、のぼて、

ねくよ、から、のぼて、

ままそろて、

ごもゝまゑ、みおやせ

又 志よりもり、ちよむる、

おぎやかもい、がなし

(一三) ひやくなからのぼてがふし

一 ひやくな、から、かねて、

つれる、つれ、つれて、

かほうお、志より、おやぐよ

又 さきよだ、から、かねて

(一四) たくしたらなつけがふし

一 たまぐま、おむる、

志まのぬしてだ、

ごもゝごの、ふまむり、志よむちへ

又 くよのねよおむる

又 けよの世かるひよ

校訂おもしろさうじ

(一五) こいしのがさしふこのかゝらのふじ

一 たまぐさくもりぐすく

いみやこ、より、

もゝと、世を、ちよとれ

又 たゝみきよよ、

おきよぐむよ

(一六) かつれんをいきやるかつれがふじ

一 あまつゝの、あめたもを、むらね、

あまつゝと、あいつまり、いきやか せ

あまつゝの、くれたもを、むらぬ

(一七) たくしたらなつけがふじ

一 たまぐさく、おむる、

いちへき、きよらてだよ、
此世、かけつめて、ちよとれ
又 くよのねよ、おむる、
いちへき、きよら、てだ

(一八) こいしのがさしふこのむらがふじ

一 くむこもり、

まだまもり、ぐさく、

大ぎみよ、まられゝ

又 みぢるりきよが、さしふ、

かみよしやが、むつき

又 あかべごり、せゝと、

まむが、ごりせゝと

(一九) あおりやへかふじ

(一)モ、寶劍
手金丸が異
名

十七の六四

校訂おもしろさうし

一〇

一 おぎやかまぎや、おもろ、
つくしちやら、おぼろて、
玉がとら、ふうくよ、よせぐまぐ
又 おぎやかまぎや、せるむ

(二〇) こいじのがふじ

一 くむこもり、まだまもりぐまぐ、
かねがなし、きみほこり、げらへて
又 ひやくな、うちに、ゑらで、おちやる、ま
又 さきよだうちよ、そつて、おちやる、ま
人

(二一) あおりやへがふじ

一 くもこ、もりぐまぐ、
おむもりと、てづて、
世、まさる、ひやし

十七の六五

八四二

十七の六六

うちちへ、みおやせ
又 まだまもりぐまぐ
又 きこへ、あが、なさ(い)きよ

(二二) あおりやへがふじ

一 きこるおむもりぎや、
くむこもり、おれむちへ、
なむちや、こがね、
もちろ、きゆる、きよらや
又 ごとよむおむもりぎや
又 あやの、てだえ、さだけて

(二三) あおりやへがふじ

一 きこる、あやの、てよ、ぎや、
まへの、ひやし、めづら、ひやし、みおやせ

十七の六七

第十八

一一

八四三

校訂おもしろさうし

又どよむ、あやの、てよぎや
又くむこもり おれむちへ

(二四) あおりやへがふし

一きこへ、あやの、天ぎや、
くむこもり、おれむちへ
まへの、ひやし、めづら、ひやし、みおやせ
又どよむあやの、天が
又なさいきよもいが、み御まへ

(二五) あおりやへがふし

一よだいきよが、おもろ、
つくしちやら、おぼへて、
げらへて、ともゝど、ちよむちへ
又おぎやかまぎや、おもろ

十七の六八

十七の六九

十七の七〇

又きこゑたまぐすく

(二六)

一やかぶ、のろ けとや、のろ、
せくたち、たちよむる、とよみ
又たけこらが、かみよしやが、せくたち

(二七) 中ぐまくおもろのふし

一いとかせよ、おむる、てだ、
ゑぞの、てだ、みちゑ、みちまむて
又やかぶ、かち、あよむ、てだ

(二八) うちいてぬ大きこのてだのふし

一いとかせ、てだよ、
あんどおそい、てだよ、

十七の七一

十七の七二

あまへて、かちちよけれ

又けおのよかるひよ

又けおのきやかかるひよ

又うらさきよ、つかい、

がなえよ、つかい

(二九) うちいてゑ大ざこのてだのふじ

一いとかせ、てだ、

あんじおそい、てだよ、

世、そ見る、ひやし、

うちちへ、みおやせ

又けおのよかるひよ

けおのきやかかるひよ

又くらまる、もたちへ、

みごろの、もたちへ

又見たさえ、見たせ、

くださえ、くだせ

(三〇) うちいてゑあかるゑこのふじ

一ちゑん、お見る、

見たきよ、やぐめさよ、

ふなこし、こまらや

又さきよ、お見る、見たきよ

(三一) おもろねやがりかひやくさがふじ

一せしきよ、かなぐせく、

ゆかる、かなぐせく、

おもやげの、ぐすく、

てだが、ほこり よちちへ

又いとかせの、ねくよ、

校訂おもしろさうし
たまぐすく、まくよ

(三二) おもやけのぐまくのふじ

一せしきよ、かなぐまぐ、

世かる、かなぐまぐ、

玉よせ、ぐまぐ、

てだま、世世、ちよとれ

又いとかまの、ねくよ

たまぐまぐ、まくよ

ちゑねんさしきそなく
すくおもしろ御さうし

天啓三年 癸亥 三月七日

(一)モ、勝心

(二)モ、かな
しや心

(一)モ、御城
殿中之御座
の事心

(一)モ、人名
心

(一) うらおそいのおやのろがふじ

一さしき、いちへき、あぢよ、
よら人々、

けれど、きむあぐみ、てだ
又さしき、ぢやくよ、あぢよ

(二) うらおそいのおやのろがふじ

一さしき、いちゑき、あぢの、

世、おそうお、もりよ、

よそむる、くよつぼよ、ちよむれ

又さしき、ぢやくよ、あぢの、

(三) うらおそいのおやのろがふじ

一まこゑしが、おもろ、

きむたるよ、よせ、あんじ、

ふうくよ、そろゑて、みおやせ

又さしき、いちへき、あぢの

又さしき、ぢやくよ、あぢの

(四) うらおそいのおやのろがふし

一さしき、かなもりよ、

巴か、きよらが、

け巴い、あまび、みもん

又よしの、かなもりよ

又まいご、かぢよ、お巴よ

(五) うらおそいのおやのろがふし

一さしき、かなもりよ、

あやで、うちちへ、なよれと、

(一)モ、おも
ろ仕候時つ
つみにて拍
子打事ん
(二)モ、鼓
ておもろの
拍子を舞之
風情之事ん

(三)モ、眼前
の事ん

せのきみど、きみど

又よしの、かなもりよ

又かみまむの、みるめ

(六) うらおそいのおやのろがふし

一さしき、かなもりよ、

せのきみと、てづて、

大きみまよ、まろ巴め

又よしの、かなもりよ、

せのきみと、てづて

又せのきみや、たるが、

大きみや、づれが、

(七) うらおそいのおやのろがふし

一さしきから、もだいきよ、

(一)モ、誰か
と云事

(二)モ、何れ
かと云事

(一)モ、人名

きちる、やぢよ、えらよきやと、

おぎやかもいよ、みおやせ、

(又) ねく國から、もだいきよ

又おれづむが、むかなつが、たてと

(八) うらおそいのおやのろがふじ

一さしき、かなもりや、

あめもらん、かなもり、

さしき、よせめらて、えちやる

又よしの、かなもりよ

(九) うらおそいのおやのろがふじ

一さしき、なむしろよ、

(二) あまみやから、までみづ、

(三) までみづよ、

(一) モ、むかしの事
(二) モ、佐敷小按司おほ水の事

おぎやかもいよ、みおやせ
又もたい、なむしろよ、

(一〇) うらおそいのおやのろがふじ

一さしき、なむしろよ、

(二) まで物 ま物 まだまの

(三) どりやがる、みしやこ

又もたいなむしろよ

(一一) うらおそいのおやのろがふじ

一さしき、ちやうぐちよ、

(二) およむしの、

(三) ちねうち、まる、みもん

又よしの、ちやうぐちよ

(一) モ、誕生の事
(二) モ、男子の事
* 序十頁参照
(三) モ、能か事と云事
(四) モ、榮へる事

(一) モ、誕生の事
之子がなく
事鬼々わしく
に云かけた事
そに云かけた事
(二) モ、子動
手足差上り
はいたらく事
なふこ

(一二) うらおそいおやのろかふし

一 なましろの、みやよ、

月三まろと、てづて、

つきまろと、

なさいきよもい、

まぶりよまめ

又 けよのよかるひよ

(一三) うらおそいおやのろがふし

一 よ三なみねの大や、

たけつぼよ、つくて、おちへ、

あんじおそい、ぎや、

まま、うちまる、いやころ

なままろの大やたけ

(一)モ、苗代
大や庭に御
座有美石之
事

(二)モ、父親
の事

(一)モ、苗代
の大親事

(二)モ、矢心
(三)竹つぼの
事

(一四) うらおそいのおやのろがふし

一 よ三なみねの大や、

あや、ひよどり、あまをちる、

いみやからど、

いみぎや、まさる

又 なままろの大や、あや

(一五) うらおそいのおやのろがふし

一 さしき、よりやげの、もりよ、

ままよせる、つみの、あるあち

又 ねくよ、よりやげの、もりよ

(一六) 中城おもしろのふし

一 さしき、いちるき、あちの、

(一)モ、苗代
の大や事

(二)モ、此人
佐敷小按司
之父

廿二の二五

(一)モ、干瀬
崎の事

校訂おもしろさうし
ながり、きこゑ、てだ
又さしき、ちや國、あちの
又てたきしの、うるめ

(一七) きこへきみがなしのふじ

一さしき、なむえろよ、
せあらえ、
けお、くなべ、せらよ
又もたい、なむえろよ
され、ころた、
せあらえ
又どけ、ころた、
せあらえ
けお、くなべ、せらよ

(一)モ、勢軍の事
(二)モ、今日
(三)モ、致といふ事
(四)モ、榮へる
(五)除かといふ事
(六)モ、百姓の通稱
(七)モ、今日之事
(八)鐘(ナラブ)といふ事

(一八) うらおそいのおやのろがふじ

一さしきから、
みさ、げや、のぼて、
やちよ、世のつぼよ、
御みしやら、ぬきやげえ、
のち、まさる、ひやし、
うちちゑ、みおやせ
又ね國から、
みさ、げや、のぼて、
やちよ、世のつぼよ、みしやご

(一九) うらおそいのおやのろがふじ

一さしき、いちへき、あち、
まさの、いちゑき、あちや、

(一)モ、献上物の事

(一)モ、正にと云事
(二)モ、賢き器量勝たるを云

(三)モ、和睦
之事

校訂おもしろさうし

おや、^(三)なて、

ままうち、まさり、よむちへ

又さしき、ぢやくよ、あぢ

(二〇) うらおそいおもろのふし

一ちよや、^(三)まけな、

いきやある、まぢや、おてが、

^(三)なみまぐ、いぐまちへ、こがせ

又ちよや、まけな、

いきやある、^(三)いつこ、おて

(二一) うらおそいおもろのふし

一くでけん、^(三)かきよ、

^(三)かきよらか、

(一)モ、臣下
(二)モ、首里
天加那志美
御前東レ行
幸之御時知
名安座眞な
どにて御轎
夫ども潮を
橋や上げて
轎を上げて
行事
(三)モ、臣下
(一)モ、人名
(三)モ人名

世がほう、みおやせ

又くでけん、まちやり

又けよのよかるひよ

(二二) うらおそいおもろのふし

一ちゑねん、もりぐまぐ、

この、世まさり、よむちへ、

ままかねて、

あんどおそいよ、みおやせ

又ぢやくよもりぐまぐ

(二三) うらおそいおもろのふし

一ちゑねん、もりぐまぐ、

くよつぼよ、

あぢおそいよ、みおやせ

校訂おもしろさうし

又ちやくよもりぐまぐ

又けよのよかるひよ

(二四) うらおそいおもろのふじ

一ちゑねん、もりぐまぐ、

のぼて、いけと、

てだが、ほこり、よせちへ

又ちやくよもりぐまぐ

(二五) きこへたうやまがふじ

一ちゑねん、もりぐまぐ、

かみ、^(三)まぢや、そろて、

きみ、とやせ

又ちやくよもりぐまぐ

又けおのよかるひよ

(一)モ、都而
世の人をい
ふこ

(二)モ、能國
といふ事

(二六) うちいてまおへやふその大やがふじ

一ちゑねんもりぐまぐ、きよらや、

かみ下の、よそい、おどの

又ちゑねんもりぐまぐ

又くろかねこらか

(二七) うちいてまおやふその大やがふじ

一ちゑねんもりぐまぐ、

ふうくよ、よるもり、ぐまぐ

又ちやくよもりぐまぐ

又けおのよかるひよ

(二八) くだかあつめなまくせきよらがけおのうちがふじ

一ちゑねんもりぐまぐ

(一)モ、行ん

校訂おもしろさうし

つきまろと、てづて、

なさい きよが、

(二)いきよいど、まちよる

又ちやくよもりぐまぐ

(二九) かつれまてだむかてちやうあけてがふじ

一ちゑねんもり、ちやくよもり、

うらごよむ、あぢがなし、みちやる

又(三)さふるこが、うれしこが、

又かむひらよ、まいひらよ

(三〇) きこへたうやまがふじ

一ちゑねんもりぐまぐ

たうのふね、

こゝらよる、ぐまぐ

又ちやくよもりぐまぐ

(三一) たいらこしらいぶふじ

一ちゑねんもりぐすく

あまみきよが、

のだて、そぢめの、ぐまぐ

又ちやくよもりぐまぐ

(三二) たいらこしらいがふじ

一ちゑねんもりぐまぐ

かみおれ、そぢめの、ぐまぐ

又ちやくよもりぐまぐ

かみが、お(れ)そぢめの、ぐまぐ

(三三) うらそいおもろのふじ

一ちゑねんもりぐまぐ、

みもんくまひちゑり、

お世もりよ、みおやせ

又ぢやくよもりぐまぐ

(三四) うちいてまほいのこりのふじ

一ちゑねん、あつめなよ、

世う、よりみちへれ

又あざま、あつめなよ

又けおのよかるひよ

(三五) うちいてませぢごよみせいくさがふじ

一だしま、おしかさが、

ごよみよる、おゑさご、もり、

みちやる

又だきりおしかさが

又よるや、てりやかり

又かなや、もちつき

又これる、うらさる

又これる、あきみよ、

ごよみよる、おゑさご

(三六) おもろね(や)がりままたづながふじ

一くだか、あつめなよ、

ささね、よらふさよ、

ちゑねんが、み(二)やり、ぼしや

又きむと、いきよれ、どむ、

あよと、いきよれ、どむ

(一)モ、拜度

(二)モ、肝之事

校訂おもしろさうじ

(三七) ねいしまいしがふじ

一 くだか、あつめなよ、
くせきよらが、

げおの、ううち、

あらさき、やぐめ

又 ほか(ま)あつめなよ

又 まつとしりつきあけて

(一)モ、恐敬
斟抄之事

(三八) うらおそいおもろのふじ

一 きこゑ、えなぐまぐ、

いちやぢや、もちろかちへ、

きみが、けおの、うちる、

かよ、ある

又 ごとよむ えなぐまぐ

(三九) うらおそいおもろのふじ

一 きこゑえなぐまぐ、

さまかさを、てづて、

きみが、金うちる、

かよ、ある

又 ごとよむえなぐまぐ

(四〇) うらおそいおもろのふじ

一 きこゑえなぐまぐ

あが、なさま、よせたれ、

だよ、さうせて、

ふため、まさり、よむちへ

又 ごとよむえなぐまぐ

(一)モ、我へ
(二)モ、父へ
(三)モ、申せ
といふ事

校訂おもしろさうじ

(四一) うらおそいおもろのふじ

一きこゑはなぐまぐ

あおり、み(つ)たて、

あが、なさは、

ままの、ぬしよ、せたれ

又ごよむ、えなぐまぐ

(四二) うらおそいおもろのふじ

一きこゑ、えなぐまぐ

あおり、かき、たて、

かぐらの、けおの、うちる、

かよ、ある

又ごよむえなぐまぐ

(四三) うらおそいおもろのふじ

一きこゑ、さまかさが、

ごよむ、さまかさが、

あや、むしよせる、

えなぐまぐ

又きこゑえなぐまぐ

ごよむえなぐまぐ

又さまかさが、きみの

あんじの、かねざり

又やふそ、ころがま、

ころがまよ、ごらまよ

(四四) うらおそいおもろのふじ

一きこゑえなぐまぐ、

つゞみ、おむもりや、

校訂おもしろさうじ

くよとよみ

又とよむ となぐまぐ

(四五) うらおそいおもろのふじ

一きこゑとなぐまぐ、

とよむとなぐまぐ、

つゞみの、あぢ國、とよみ

又たまどりよ、あつる、

うら、こしなおちへ

(四六) うらおそいおもろのふじ

一きこゑとなぐまぐ、

もくくら、ひきつれる、

御くら、げらへ

又とよむとなぐまぐ

二十の五八

二十の五九

(一)モ、佐事
之事

二十の六〇

(四七) うらおそいおもろのふじ

一となぐまぐたゞ、なしま、

かてく、あぢよ、おもむれ、

又まもの世のぬしま、

ま人きやが、まよむれ

(四八) なかぐまぐおもろのふじ

一おきなむ、となぐまぐ、

ちやらの、けよや、

へらい、ぼしや

又おきなむ、となぐまぐてだ

(四九) ちやうやうへまのしのふじ

一たまどりよ、あつる、

(一)モ、會合
して居度と

二十の六二

(一)モ、有ん